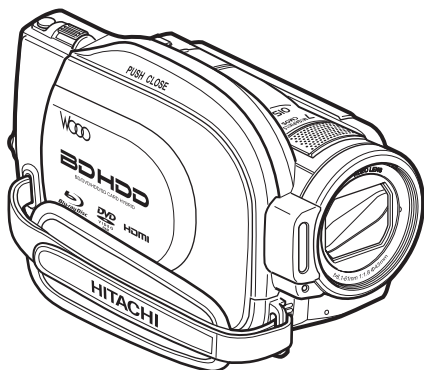


# 取扱説明書

WOOD

## DZ-BD10H 形



HITACHI  
Inspire the Next

安全にお使い  
いただくために

はじめに

準備する

撮る

見る

いろいろな撮影  
テクニック

BD / DVD / カード  
にダビングする

編集する

他の機器で見る

パソコンと接続する

その他



AVCHD



HDMI™

このたびは、日立ビデオカメラをお買い上げいただき、  
まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故にな  
ることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを  
示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

## 警告 安全にお使いいただくために

P.102 ~ 107 もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



### 「安全にお使いいただくために」の注意事項を守る

#### 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

#### 故障したら使わない

カメラや AC アダプター／チャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに「ご相談窓口」にお問い合わせください。

#### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら  
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② AC アダプター／チャージャー、バッテリーパックを外す
- ③ 「ご相談窓口（エコーセンター）」に連絡する

裏表紙に「ご相談窓口（エコーセンター）」の連絡先があります。

#### ■ 注意事項の記載方法

本書では、本機を安全にお使いいただくためにご注意ください。3段階に分けて記載しています。



**危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷<sup>\*1</sup>を負う危険が差し迫って生じることが想定される事項を説明しています。



**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷<sup>\*1</sup>を負う可能性が想定される事項を説明しています。



**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害<sup>\*2</sup>を負ったり、物的損害<sup>\*3</sup>が発生したりする可能性が想定される事項を説明しています。

\*1 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

\*2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど（高温・低温）、感電などを指します。

\*3 物的損害：家屋、家財、および家畜、ペットに関わる拡大損害を指します。

#### ■ 重要な説明を示す記号

重要な説明が一目でわかるように、以下に示す記号を使用しています。



「注意」していただきたい内容を示します。



禁止

してはいけない「禁止」行為を示します。



分解禁止

「分解禁止」を示します。



ぬれ手禁止

「ぬれた手で扱うことを禁止する」ことを示します。



水ぬれ禁止

「水にぬらすことを禁止する」ことを示します。



風呂場等使用禁止

「風呂場やシャワー室などでの使用禁止」を示します。



「強制」記号です。必ず実行していただきたいことを示します。



コンセントから必ず「電源プラグを抜く」ことを示します。

この英文は、米国の UL 規格に基づき安全上の注意を記載するものです。

## Important Information

**WARNING : To prevent fire or shock hazard, do not expose this unit to rain or moisture.**

**WARNING : Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type.**



### Identifications of caution marks



This symbol warns the user that uninsulated voltage within the unit may have sufficient magnitude to cause electrical shock. Therefore, it is dangerous to make any kind of contact with any inside part of this unit.



This symbol alerts the user that important literature concerning the operation and maintenance of this unit has been included. Therefore, it should be read carefully to avoid any problems.

**CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.**

Avoid using and storing the battery pack in places subject to direct sunlight, high temperatures, or near a flame source.

In addition to the careful attention devoted to quality standards in the manufacture of your video product, safety is a major factor in the design of every instrument. But, safety is your responsibility too.

This page lists important information that will help to assure your enjoyment and proper use of the camcorder and accessory equipment.

# IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

*In addition to the careful attention devoted to quality standards in the manufacture of your camcorder, safety is a major factor in the design of every instrument. But, safety is your responsibility too. This page lists important information that will help to assure your enjoyment and proper use of the camcorder and accessory equipment.*

- 1 Read these instructions.
- 2 Store these instructions for convenient accessibility.
- 3 Heed all warnings.
- 4 Observe all instructions.
- 5 Do not use the camcorder near water.
- 6 Clean the camcorder using only a dry cloth.
- 7 Do not block any ventilation openings. The camcorder should be placed in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8 Do not place the camcorder near heat sources such as radiators, heat-registering areas, stoves, or other heat-generating apparatus (including amplifiers).
- 9 Protect the power cable and cord from being walked on or pinched, particularly at the plugs, power outlets, and at connection points to the camcorder.
- 10 Only use the attachments and accessories specified by the manufacturer.
- 11 Use the camcorder only with a cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer or sold with the camcorder. When using a cart to move the camcorder, use caution to avoid injury from tip-over.
- 12 Unplug the camcorder during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 13 Refer all servicing to qualified servicing personnel. Servicing will be required when the camcorder is damaged in any way, such as if the power cable, cord, or plug is damaged, liquid is spilled or foreign objects fall into the camcorder, the camcorder is exposed to rain or moisture, does not operate normally, or is dropped.
- 14 Do not drip or splash liquids onto the camcorder or place the camcorder near objects filled with liquid such as vases.
- 15 Use the equipment (AC adapter/charger) near a power outlet with easy accessibility.



S3125A

## UL 規格に基づく表示 3

Important Information .....	3
IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS .....	4

## はじめに 7

こんなことができます .....	7
目的によってメディアを選んでください .....	8
本書のみかた .....	10
ご使用前に - 必ずお読みください - .....	11
付属品の確認 .....	13
各部の名称 .....	14
液晶モニターの開きかた .....	17
液晶モニターの明るさを変える .....	17

## 準備する 18

準備する .....	18
バッテリーパックを充電して取り付ける .....	18
電源を入れる .....	19
日時を設定・確認する .....	19
HDD / BD / DVD / カードについて .....	20
HDD / BD / DVD について .....	20
BD-R / DVD-R について .....	21
使用できないディスクの例 .....	21
使用できるカードについて .....	21
BD / DVD / カードの注意事項 .....	21
BD / DVD を入れる .....	22
新品の BD-RE / BD-R / DVD-RW は 初期化が必要です .....	23
バッテリーパックについて .....	24
バッテリーパックのチャージランプと 充電時間 .....	24
バッテリーパックでの撮影時間 .....	24
本機をコンセントにつないで使う .....	24
DC パワーコードやバッテリーパックを 本機から取り外すには .....	25
バッテリーパックを上手に使うために .....	25

## 撮る 26

HDD に動画を撮る .....	26
BD / DVD に動画を撮る .....	26
カードに動画 / 静止画を撮る .....	28
撮影時の画面表示について .....	30
撮影中のバッテリーパックの 消費量をおさえる .....	32

## 見る 33

撮影した映像を見る .....	33
複数シーンを選んで再生する .....	34
指定した場面へジャンプする .....	35
動画再生中、スピーカーの 音量を調節する .....	36
再生時の画面表示 .....	36
再生中、一時停止中 ボタン1つで操作できる機能 .....	37
カードの静止画を自動連続再生する (スライドショー) .....	38
動画から静止画を切り出す (静止画キャプチャー) .....	38
繰り返し再生する (リピート再生) .....	38

## いろいろな撮影テクニック 40

メニュー操作について .....	40
メニュー (撮影時、初期設定) .....	41
液晶設定と初期設定について .....	41
デモンストレーション (デモ) 機能 について .....	42
大きく撮る (光学ズームとデジタルズーム) .....	43
至近距離からの撮影 (接写) .....	43
別売のレンズで、より広角に、 より望遠で撮影する .....	43
ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス) .....	44
撮影画像の明るさを調整する (露出) .....	45
逆光を補正する (逆光補正) .....	45
状況に合った撮影モードを選ぶ (プログラム AE) .....	45
色合いを調整する (ホワイトバランス) .....	46
ホワイトバランスを手動で設定する (セット) .....	46
ブレを少なくして撮る (手ブレ補正) .....	47
人物の顔にピントと露出を自動で合わせる (顔ピタ) .....	48
撮影ガイドラインを表示させる .....	48
風の音を低減させて撮る .....	48
カメラの撮影設定をすべて 初期値に戻す (フルオート) .....	49
フラッシュを使う .....	49
レンズ下にある録画ランプを消す .....	50
動画画質を切り替える .....	50
ワイドテレビに対応した静止画を撮る (ワイドモード) .....	51
セルフタイマーを使う .....	51

**BD / DVD / カードにダビングする 52**

ダビングする	54
ダビング済 / 未ダビングのシーンを一覧する (表示分類)	56
ダビング済みのシーンを、はじめてダビング できるようにする (マーク解除)	56

**編集する 57**

ディスクナビゲーションから使う メニューについて	57
ディスクナビゲーション画面からの メニューの推移	58
日付ごとに選ぶ	59
日付ごとの表示に切り替える (日付)	59
プレイリスト	59
プレイリストとは?	59
プレイリストを作成する	59
プレイリストごとの表示に切り替える	60
プレイリストにシーンを追加する	60
プレイリストのシーンを削除する	61
プレイリストのシーンを並べ替える	61
プレイリストを削除する	61
シーンを削除する (編集～削除)	62
動画を分割する (編集～分割)	62
複数の動画を結合する (編集～結合)	63
シーンを効果的に演出する (編集～フェード)	64
ジャンプ	65
静止画のシーンをロックする	65
シーンの情報を表示する (情報表示)	65
HDD / BD / DVD / カードを初期化する (初期化)	66
BD / DVD をプロテクトする	67
あとののくらしい録画できるか確かめる (残量表示)	67

**他の機器で見る 68**

テレビにつないで見る	68
テレビと接続する	68
テレビに合わせて本機の出力設定をする	69
テレビで見る	70
Wooo リンクを使って再生する	71
テレビのリモコンで本機を操作する	71
レコーダーやプレーヤーで見る	73
BD-R / DVD-RW(VFモード) / DVD-R をBD / DVDレコーダー、BD / DVD プレーヤーなどで再生する前に	73
DVD-RAM、DVD-RW(VRモード)をDVD レコーダーなどで再生する場合は	74
DVD-RW(VRモード)のファイナライズに ついて	74
ファイナライズする	75
ファイナライズを解除する	76

**パソコンと接続する 77**

ソフトウェアのインストール	78
映像をパソコンで取り込む前の準備	79
本機とパソコンのつなぎかた	79
パソコン接続中のメディアの 取り出しかた	80
パソコン内蔵のドライブで ディスクを使用する	80
PC接続の終了 (USBケーブルの取り外し) ・電源スイッチを切り替える前に	80
ImageMixer 3 AVCHD Edition for HITACHIの使いかた	81
ソフトウェアのアンインストール	84
パソコンと接続するときの注意事項	85
お問い合わせ先	85

**その他 86**

別売品の紹介	86
海外で使うとき	86
メッセージが表示されたら	87
故障かな…と思ったら	92
ご使用上の注意	97
HDDについてのご注意	97
取り扱い上のご注意	97
システムリセット	101
ソフトウェアのライセンス情報	108
Quick Operation (English)	109
快速操作指南 (中文)	116
主な仕様	123
用語集	126
索引	127
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	129
お出かけ前に機材のチェック	130

# こんなことができます

**撮る!** 動画も静止画もこれ一台で!!

静止画 動画

さまざまなメディア

- HDD (ハードディスク)
- BD (ブルーレイディスク)
- DVD
- SDHCメモリーカード
- SDメモリーカード

これでカイクツ!

「何が」「どれに」撮れるかすぐわかる!

カメラの液晶モニターが開いた状態で、メニューボタンを押す。カメラの液晶モニターにメディアの種類が表示される。メディアの種類に応じて、撮影モードが自動的に切り替わる。

撮ったら

**見る!** テレビにつないで大画面で!!

HDMI

D端子

AVケーブル

テレビで

本体で

どのケーブルでつなぐかわかりやすい!

これでカイクツ!

カメラの液晶モニターが開いた状態で、メニューボタンを押す。カメラの液晶モニターにテレビ接続のメニューが表示される。テレビ接続を選択すると、カメラの液晶モニターがテレビ画面に接続される。

見たら

**残す!** 保存ディスク選びもプレゼントも簡単!!

ディスク選びも簡単!

ダビングメニュー

BD-RE BD-R

DVD-RAM

DVD-RW

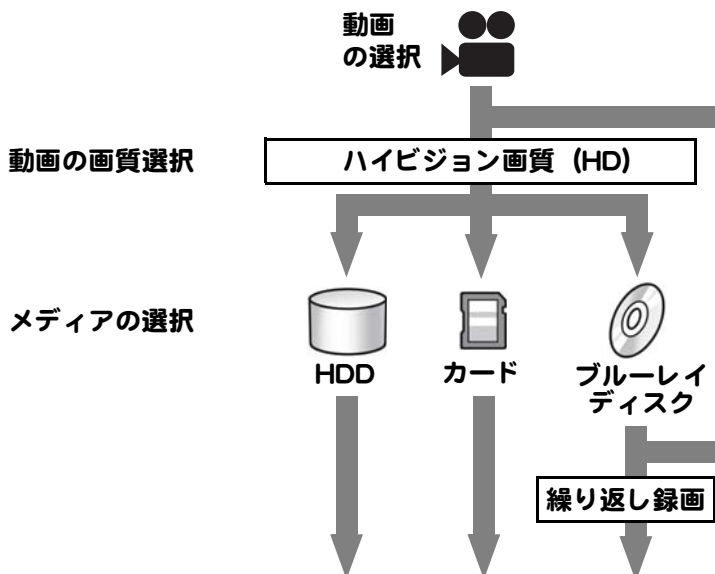
DVD-R

これでカイクツ!

カメラの液晶モニターが開いた状態で、メニューボタンを押す。カメラの液晶モニターにディスクダビングのメニューが表示される。ディスクの種類を選択すると、ディスクの種類に応じて、撮影モードが自動的に切り替わる。

## 目的によってメディアを選んでください

はじめに



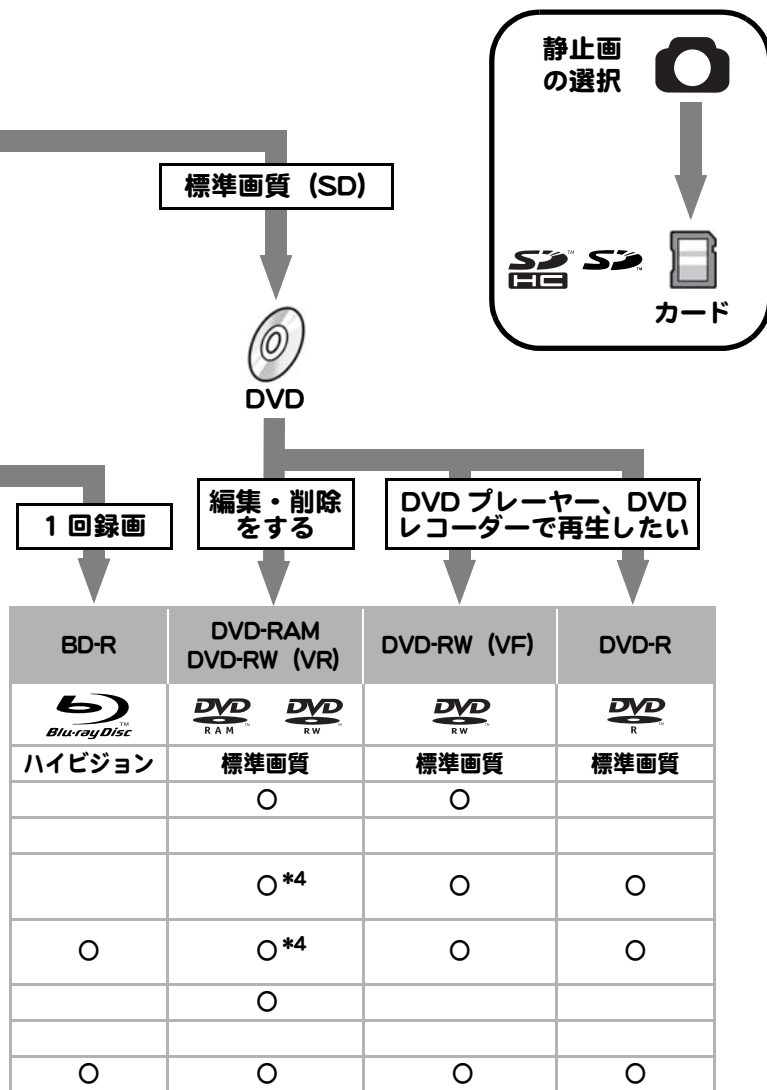
特長 ※ 詳細は参照先を 確認してください。	メディアの種類		
	HDD	カード	BD-RE
画質	ハイビジョン	ハイビジョン	ハイビジョン
初期化してまた使える (P.66)	○	○	○
長時間録画できる	○	*1	
DVD プレーヤーやレコーダーで再生できる (P.73)			
ブルーレイプレーヤーやレコーダーで再生できる (P.73)			○
本機で編集・削除できる (P.62)	○	○*2	○
本機でダビング できる (P.52)	ダビング元	○	
	ダビング先		○*3

\*1 カードの容量によって録画時間が違います。

\*2 一部の機能は対応していません。

\*3 HDD の内容のみダビングできます。





\*4 対応した機器で再生できます。

## 本書のみかた

### メディアの表記について

本機の機能は、使用するメディア (HDD / BD / DVD / カード) によって、使用できる機能に制限があります。

ご使用になる HDD、BD、DVD やカードがその機能に対応しているかどうかは、以下のような見出し上のマークで識別してください。

**HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-RW(VR)** **-RW(VF)** **R** **カード**

メディアの種類	マーク	メディア
HDD	<b>HDD</b>	内蔵ハードディスク (HDD)
ブルーレイディスク Blu-ray Disc BD	<b>BD-RE</b>	BD-RE (繰り返し録画用ブルーレイディスク)
	<b>BD-R</b>	BD-R (1回録画用ブルーレイディスク)
DVD	<b>RAM</b>	DVD-RAM
	<b>-RW(VR)</b>	DVD-RW (VR モード)
	<b>-RW(VF)</b>	DVD-RW (VF (ビデオ) モード)
	<b>R</b>	DVD-R
カード	<b>カード</b>	SDHC メモリーカード SD メモリーカード miniSDHC / SD メモリーカード (専用アダプターが必要です) microSDHC / SD メモリーカード (専用アダプターが必要です) ※ 本書では、SDHC メモリーカード、SD メモリーカードを「カード」と記載しています。

### 記録時に必要なカードの容量

	動画の記録	静止画の記録
SDHC メモリーカード	4GB ~ 32GB	4GB ~ 32GB
SD メモリーカード	1GB ~ 2GB	32MB ~ 2GB

※ 動画の記録には、SD スピードクラス Class4 以上を推奨します。

※ 4GB 以上の SDHC ロゴのない SD カードは使用できません。

## 本書内の画面について

本書に記載されている画面表示は、メッセージ表示を省略しております。  
画面のメッセージ表示については、実際の画面でご確認ください。

## ボタンの表記について

本文、手順にあらわれるボタンは、名称を [ ] で囲んで、ボタンであることを示しています。

例：[見る] を押す

## ご使用前に - 必ずお読みください -

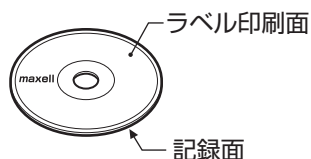
### 試し撮りをしてください

- 大切な撮影前には必ず試し撮りをして、正常に記録されるかを確認してください。

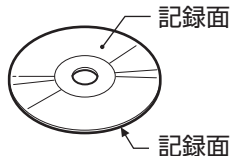
### ディスクの記録できる部分について

- 片面ディスクの場合： ラベル印刷されていない面がディスクの記録面です。  
ラベル印刷面は全面白色のものもあります。
- 両面ディスクの場合： ディスクのどちらの面にも記録できます。

片面ディスク

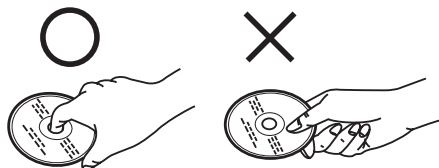


両面ディスク



### ディスクの持ちかた

- ディスクの記録できる部分には触れないように持ってください。



## 正しく記録するためには

- ディスクの記録面には触れないでください。
- ディスクの記録面に汚れ、傷がないことを確認してください。
- 記録面に汚れが付いていた場合は、柔らかい布で軽くふき取ってください。



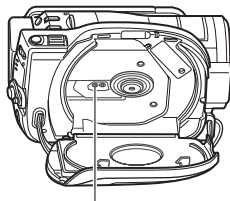
柔らかい布で内周から外周へ軽くふいてください。

## ディスク装置のご注意

- ピックアップには絶対触れないでください。

## 振動衝撃のご注意

- アクセスランプ (P.14) が点灯/点滅している間は、強い振動や衝撃を与えないでください。特に、撮影終了後もしばらくランプが点灯していますので、ご注意ください。



ピックアップ

## BD / DVD について

- 本機と組み合わせ動作が確認されている日立マクセル製のディスクをおすすめします。
- 輸送中大きな振動衝撃が加わるおそれがあるときは、BD/DVD を取り出し、本機を柔らかいもので保護してください。

## BD / DVD を他の機器 (レコーダー、プレーヤー、パソコン) でご利用になるときは

- すべてのレコーダー/プレーヤーなどでの再生を保証するものではありません。
- 本機で記録したBD-R / DVD-RW / DVD-Rを他の機器でご利用になるときは、必ず本機でファイナライズ (P.73) をしてください。

## 撮影した映像の補償はできません

- 記録・編集中に、電源スイッチを切らないままバッテリーパックや AC アダプター/チャージャーを外すと、記録・編集中の映像が消失します。電源スイッチで電源を切ったから、バッテリーパックや AC アダプター/チャージャーを取り外してください。
- 本機や BD、DVD、カードの不具合や誤った使いかたにより、正常に記録されなかったり、再生できなくなった記録内容の補償はご容赦ください。また、お客様が撮影された映像や音声に関しても、当社は一切責任を負いません。
- 本機の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いません。
- 本機の修理をした場合に、録画した内容が消失することがありますが、当社では一切責任を負いません。

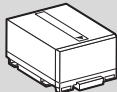
## 著作権にご注意ください

- 実演や興業、展示物などは、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

## 付属品の確認

箱を開けたら、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

バッテリーパック  
(型番：DZ-BP14S)



本機の充電式バッテリーです。充電してからお使いください。

ACアダプター／チャージャー  
(型番：DZ-ACS3)



家庭用コンセントから電源をとるときに使用します。バッテリーパックを充電するときにも使用します。

DC パワーコード



家庭用コンセントから電源をとるときに、本機とACアダプター／チャージャーとを接続します。

リモコン (型番：DZ-RM4J)



本機を離れたところから操作するときに使用します。

リモコン用リチウム電池  
(型番：CR2032)



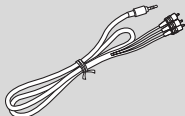
リモコン用の電池です。

電源コード



家庭用コンセントとACアダプター／チャージャーとを接続します。

AV ケーブル



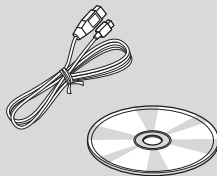
本機の映像／音声をテレビで見るときや、他のビデオ機器に映像／音声を出力するときに使用します。

D 端子ケーブル



テレビにD映像入力端子があるときに使用します。音声出力には、AVケーブルを使用します。

USB ケーブル／  
ソフトウェア CD-ROM



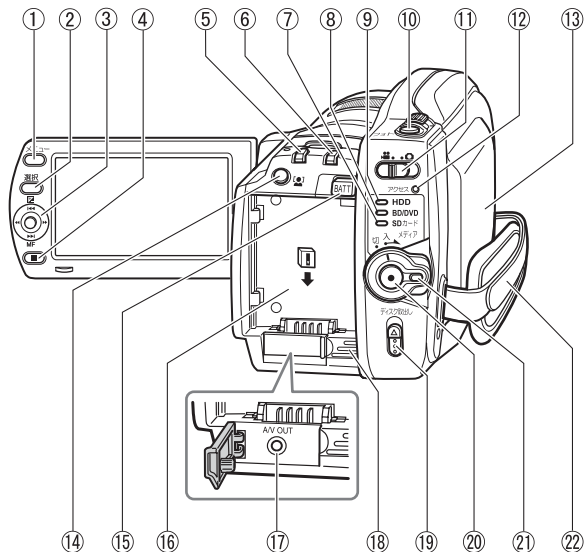
パソコンと接続するときに使います。

## HDMI ケーブルについて

- HDMIケーブルは同梱されておりません。本機をテレビのHDMI端子に接続する場合は、HDMI規格に準拠した、HDMIケーブル(ミニ標準 市販品)を別途お買い求めください。

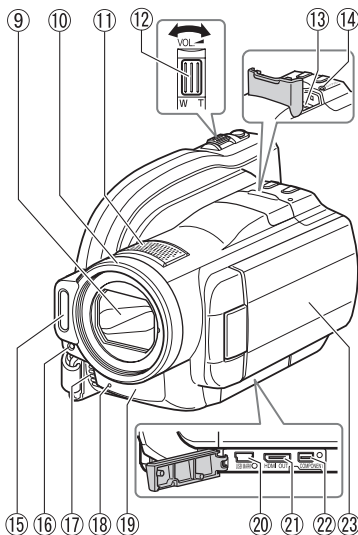
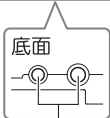
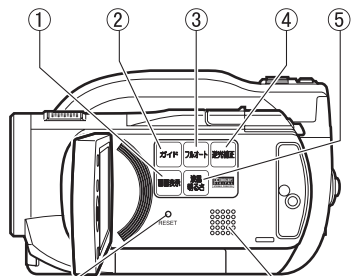
## 各部の名称

### 電源スイッチ側



- |   |                         |   |  |
|---|-------------------------|---|--|
| ① | メニューボタン (P.19)          | ⑭ | 顔ピタボタン (P.48)  |
| ② | 選択ボタン (P.34)            | ⑮ | バッテリーイジェクトボタン (P.25)   |
| ③ | ジョイスティック (P.33、37)      | ⑯ | バッテリー取付部 (P.18)  |
| ④ | ■ (停止/キャンセル) ボタン (P.40) | ⑰ | AV 出力端子 (P.69)   |
| ⑤ | 見るボタン (P.33)            | ⑱ | 吸気口<br>内部の温度上昇を防ぐため、冷却用ファンが回ります。お使いのときは、吸気口を手などでおわないようにしてください。 |
| ⑥ | ダビングボタン (P.54)          | ⑲ | ディスク取出しスイッチ (P.26)   |
| ⑦ | SD カードランプ (P.28)        | ⑳ | 録画ボタン (P.26、27、28)   |
| ⑧ | BD/DVD ランプ (P.27)       | ㉑ | 電源スイッチ/ロックボタン (P.19)   |
| ⑨ | HDD ランプ (P.26)          | ㉒ | グリップベルト (P.16)   |
| ⑩ | フォトボタン (P.28)           |   |  |
| ⑪ | 動画/静止画選択スイッチ (P.26)     |   |  |
| ⑫ | アクセスランプ (P.12、21、29)    |   |  |
| ⑬ | ディスク挿入部 (P.26)          |   |  |

## 液晶モニター側(開いたところ)と底面/レンズ側



① 画面表示ボタン (P.30、36)

② ガイドボタン (P.7)

このボタンを押すと、液晶画面上で、テレビとの接続を誘導しながら教えてくれたり、ディスクの選び方のヒントを教えてくれたりします。本書では、このボタンが使える箇所を、吹き出しアイコンで示しています。

**【カイツクガイド】使えます！  
(P.7)**

③ フルオートボタン (P.49)

④ 逆光補正ボタン (P.45)

⑤ 液晶明るさボタン (P.17)

⑥ RESET(リセット) ボタン (P.101)

⑦ 三脚ネジ穴

三脚に取り付けるときに使用します。

⑧ スピーカー

⑨ オートレンズカバー

電源を入れると自動的に開き、光学10倍ズームレンズがあらわれます。

⑩ レンズフード

⑪ ステレオマイク

撮影時は手などでおおわないように気をつけてください。

⑫ ズームレバー/音量 (P.36、43)

⑬ カード挿入部 (P.28)

⑭ カードアクセスランプ (P.21、29)

⑮ フラッシュ (P.49)

⑯ 受光センサー

フラッシュの発光量を制御するためのセンサーです。撮影時は手などでおおわないように気をつけてください。

⑰ 排気口

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用ファンが回ります。お使いのときは、排気口を手などでおおわないようにしてください。

⑱ 録画ランプ (P.50)

⑲ リモコン受信部 (P.16) / 赤外線センサー (P.46)

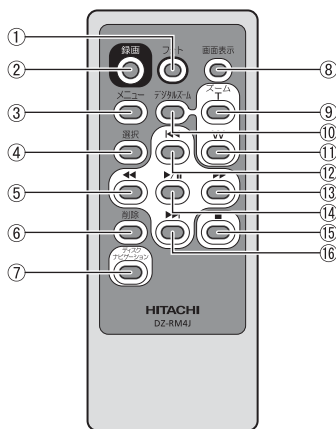
⑳ USB 端子 (P.79)

㉑ HDMI 出力端子 (P.68)

㉒ コンポーネントビデオ出力端子 (P.69)

㉓ ワイドカラー液晶モニター (P.17)

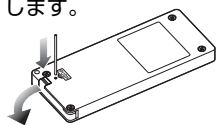
## リモコン



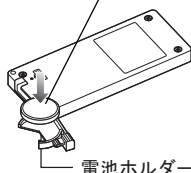
- ① フォトボタン (P.28)
- ② 録画ボタン (P.26、27、28)
- ③ メニューボタン (P.19)
- ④ 選択ボタン (P.34)
- ⑤ 逆方向サーチボタン (P.33、37)
- ⑥ 削除ボタン (P.62)
- ⑦ ディスクナビゲーションボタン (P.33)  
※ 本体の [見る] と同じ動作をします。
- ⑧ 画面表示ボタン (P.30、36)
- ⑨ ズーム T ボタン (P.43)
- ⑩ デジタルズームボタン (P.43)
- ⑪ ズーム W ボタン (P.43)
- ⑫ 逆方向スキップボタン (P.33、37)
- ⑬ 正方向サーチボタン (P.33、37)
- ⑭ 決定ボタン (P.33、37)
- ⑮ 停止ボタン (P.40)
- ⑯ 正方向スキップボタン (P.33、37)

## リモコンに電池を入れる

細い棒などを PUSH の穴に挿しなが、電池ホルダーを手前に引き出します。

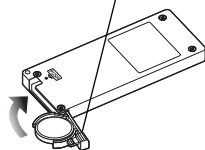


電池の +面を下にして入れます。



電池ホルダー

スライドして閉じます。



リモコンから電池を取り出すときは、同じ手順を行い、取り出してください。

※電池の取り扱いに関しては、P.104、107をご覧ください。

## グリップベルトを調整する

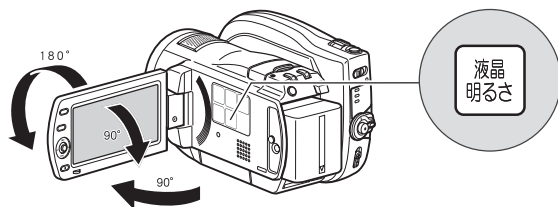
グリップベルトを図の順番にしっかりと締めてください。



- ① グリップベルトのマジックテープを外す
- ② ベルトをゆるめ、本機の下側から右手を差し入れる
- ③ マジックテープを合わせて固定する



## 液晶モニターの開きかた



### ■ 液晶モニターの明るさを変える

液晶モニターが暗くて見えにくい場合や、明るすぎる場合に、液晶モニターの明るさを変えられます。

[液晶明るさ] を押すたびに、3段階に切り替わります。

お買い上げ時は、一番明るい設定です。

電源を切っても設定は保存されます。ただし、ACアダプター／チャージャー接続時に電源を入れると、一番明るい設定になります。

### 対面撮影時の画面表示について

- 液晶モニターの映像は、鏡のように左右反対に表示されます。
- バッテリー残量表示は、バッテリーの残りがほとんどない状態でのみ表示されます。このときのバッテリー表示は、赤色で点滅します。
- 対面撮影時は、警告／メッセージ表示 (P.87) は表示されません。対面撮影時に下表の表示が液晶モニターに点灯したときは、180°回転して元に戻すと、警告／メッセージ表示が確認できます。
- 液晶モニターには、以下の動作状態が表示されます。

画面表示	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HDD に記録できない状態です。</li> <li>● HDD を使って静止画を撮影しようとしています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BD / DVD を使って静止画を撮影しようとしています。</li> <li>● 使用できないディスクが入っています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用できないカードが入っています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BD / DVD がプロテクトされています。</li> <li>● カードがロックされています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記録中 (赤い点灯表示)</li> <li>● HDD / BD / DVD / カードの残量がほとんどありません (赤い点滅表示)。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録画一時停止中 (緑の点灯表示)</li> <li>● フォーカスロック中 (紫の点灯表示)</li> <li>● HDD / BD / DVD / カードの残量がほとんどありません (赤い点滅表示)。</li> <li>● HDD / BD / DVD / カードの残量がありません (緑の点滅表示)。</li> </ul>

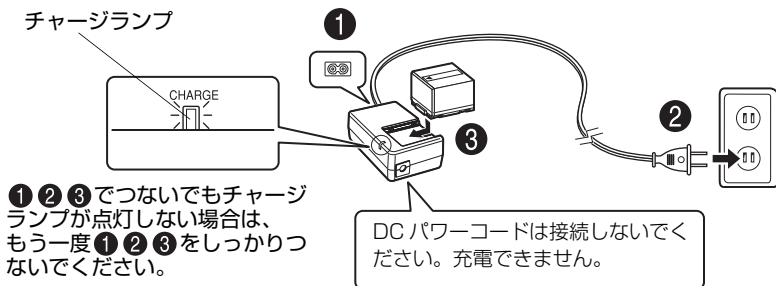
- マニュアルフォーカス、露出、画面表示モードの切り替えは対面撮影時でも可能ですが、画面には表示されません。

# 準備する

## ■ バッテリーパックを充電して取り付ける

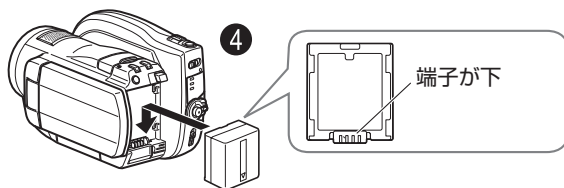
- ① 電源コードを AC アダプター／チャージャーにつなぐ
- ② 電源コードをコンセントに差し込む
- ③ バッテリーパックを AC アダプター／チャージャーに取り付ける
- ④ バッテリーパックを本機に取り付ける

チャージランプ



①②③でつないでもチャージランプが点灯しない場合は、もう一度①②③をしっかりとしないでください。

DC パワーコードは接続しないでください。充電できません。



## ● バッテリーパックの充電の状態

バッテリーパックの充電状態は、AC アダプター／チャージャーのチャージランプで確認できます。

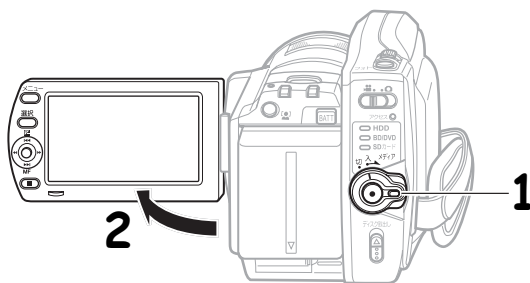
充電の状態	チャージランプ
充電中	点灯
充電完了	消灯

※ 充電時間は P.24 をご覧ください。

### ご注意

- 10℃～30℃の環境で充電してください。
- 充電は同梱の AC アダプター／チャージャーをご使用ください。

## ■ 電源を入れる

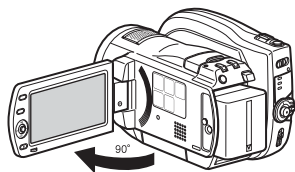


### 1 電源を入れる

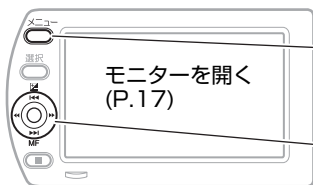


ロックボタンを押しながら「入」に合わせます

### 2 液晶モニターを開く



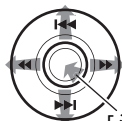
## ■ 日時を設定・確認する (お買い上げ時や久しぶりに使う場合)



メニュー

① [メニュー]を押す

② ジョイスティックで「日付機能設定」▶「日付設定」を選ぶ  
ジョイスティックの使いかたについては、P.33をご覧ください。



[決定]  
(押し込む)

③ 年→月→日→AM/PM→時→分を  
◀◀/▶▶で選び、◀◀/▶▶で設定、  
最後に [決定] を押す  
確認画面が表示されます。

④ 画面に日時が表示されます。



※ お買い上げ時は日時が設定されている場合もあります。

## HDD / BD / DVD / カードについて

HDD と、本機で使用できる BD、DVD、カードの特長は以下の表の通りです。

特長	種類	内蔵 HDD	BD-RE	BD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VR)	DVD-RW (VF)	DVD-R	カード (動画)	カード (静止画)
ハイビジョン動画の撮影 (P.26、P.28)		●	●	●	—	—	—	—	●	—
スタンダード動画の撮影 (P.26)		—	—	—	●	●	●	●	—	—
静止画の撮影 (P.28)		—	—	—	—	—	—	—	—	●
映像の削除 (P.62)		●	●	—	●	●	—	—	●	●
映像の編集 (P.57)		●	●	—	●	●	—	—	●	—
他の BD / DVD 機器での再生 (P.73)		—	●*1	●*2	●*1	●*2	●*2	●*2	—	—
初期化して繰り返し使用 (P.66)		●	●	—	●	●	●	—	●	●
ファイナライズ後に追加の記録 (P.76)		●*3	●*4	—	●*3	●	●*4	—	●*3	●*3
パソコンに映像を取り込む (P.77)*5		●	●	●*6	●	●*6	●*6	●*6	●	●
パソコンを使ってハイビジョン画質のディスクを作る *5		—	●	●	—	—	—	—	—	—
パソコンを使って標準画質のディスクを作る *5		—	—	—	●*7	●*7	●*8	●*8	—	—

\*1 それぞれのメディアに対応した機器で再生可能です。

\*2 ファイナライズが必要です。

再生できない BD / DVD プレーヤーや BD / DVD レコーダーもあります。

\*3 ファイナライズがないので、いつでも追加記録できます。

\*4 記録するには、ファイナライズの解除が必要です。

\*5 同梱ソフトウェアを使用します。

\*6 パソコンで再生、保存するにはファイナライズが必要です。

\*7 DVD-VR のディスクを作成できます。

\*8 DVD ビデオのディスクを作成できます。

## ■ HDD / BD / DVD について

使用できるメディアとマーク (ロゴ)	特長
HDD	ハイビジョン動画を長時間録画できます。不要なシーンの削除や編集ができます。
BD-RE Ver.2.1 7.5GB 2X (8 cm)	 ハイビジョン動画を繰り返し録画できるディスクです。削除や編集ができます。
BD-R Ver.1.1 7.5GB 2X (8 cm)	
DVD-RAM Ver.2.1 (8 cm)	 不要なシーンの削除や編集ができます。
DVD-RW Ver.1.1 2X (8 cm)	 不要なシーンの削除や編集ができる VR モードと、削除や編集はできませんが、DVD プレーヤーと高い互換性がある VF モードを選べます。
DVD-R for General Ver.2.0 (8 cm)	 DVD プレーヤーとの高い互換性があります。削除や編集はできません。

BD-R Ver.1.2 7.5GB (8 cm) で LTH TYPE ではない 2X のディスクは使用できます。

※ この表の Ver. は、ディスクの物理規格の Ver. を示します。

### 【注意】

- ディスクは本機と組合せ動作が確認されている日立マクセル製 (DVD の場合は HG タイプ) の片面ディスクをおすすめします。両面ディスクをお使いになる場合は、記録面に指紋や傷などをつけないよう取り扱いに十分ご注意ください。日立マクセル製以外のディスクをお使いになると、本機の性能が十分発揮されないことがあります。
- 角型カートリッジ／キャディケース、丸型ホルダーに入ったディスクは、中のディスクを取り出して使用してください。

## ■ BD-R / DVD-R について

本機では、BD-R / DVD-R で最適な録画をするため、ディスクの出し入れや電源の入／切をしたあとの録画のときに、ディスクの書き込み調整をします。

ディスク調整のための書き込み領域がなくなると録画できなくなることがありますので、録画をとまなうディスクの出し入れ、および電源の入／切は 1 枚の BD-R / DVD-R に対して、50 回以上しないようにしてください。

## ■ 使用できないディスクの例

BD および DVD の 2 層ディスク、BD-R LTH TYPE のディスク (色素膜を使用したもの)、+RW、+R。

## ■ 使用できるカード について

本機で使用できるのは、SDHC メモリーカード、SD メモリーカードです。

また、専用のアダプターを使うことにより、miniSDHC / SD メモリーカードおよび micro SDHC / SD メモリーカードを SDHC / SD メモリーカードとしてお使いいただけます。マルチメディアカード (MMC) は使用できません。

動画の記録／再生に必要なカードについて、詳しくは P.10 をご覧ください。

## ● カード の扱い かた

- 正規のカード以外は使用しないでください。
- 必ず試し撮りをしてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼り付けしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したり、水にぬらさないでください。
- 高温の場所、湿気、ほこりが多いところでの使用や保管は避けてください。
- 誤消去防止スイッチをロックしておく、記録や消去、編集ができなくなります。

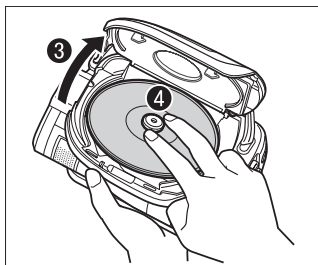
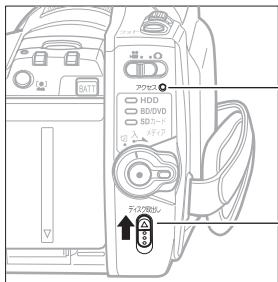


## ■ BD / DVD / カード の注意事項

以下の場合にはデータが壊れたり、消失したりすることがあります。

- 読み込み中や書き込み中 (アクセスランプやカードアクセスランプが点灯／点滅中) にバッテリーパックを外したり、カードを抜いた場合 (P.14、15、29)
- 強い静電気が発生する場所で使用した場合

## ■ BD / DVD を入れる

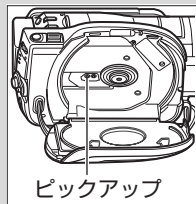


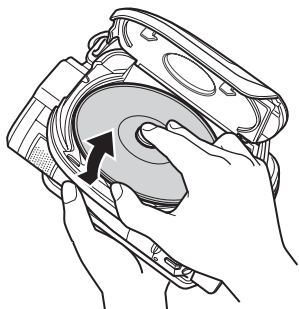
- 1 バッテリーパックまたは AC アダプター / チャージャーを接続する
- 2 電源スイッチを「切」に合わせ、ディスク取出しスイッチを、アクセスランプが点灯するまで上に押し、手をはなす
- 3 しばらく待つとふたが少し開くので、手でカチッと音がするまでさらに開く
- 4 記録面を内側にし、BD / DVD の中心部を、カチッと音がするまで押し込む
  - 片面ディスクの場合、ラベル面の反対側が記録面です。
  - 両面ディスクの場合、反対側に記録するには、裏返して入れ直します。
- 5 ふたを閉じる  
アクセスランプが点滅します。その間、電源を外したり、振動、衝撃を加えたりしないでください。

- 6 新品の BD-RE / BD-R / DVD-RW を入れたときにディスク初期化のメッセージが表示された場合は、画面に従ってディスクを初期化してください (P.23)。DVD-RAM / DVD-R はそのまま録画できます。
- 7 撮影するときは「BD / DVD に動画を撮る」(P.26)、記録済みの BD / DVD を再生するときは、「撮影した映像を見る」(P.33) に進んでください。

### ご注意

- 使用直後のディスク装置は、大変熱くなっています。金属部には触れないでください。
- ピックアップはのぞきこまないでください。視力障害を起こす原因となります。
- 以下は故障の原因になります。絶対にしないでください。
  - ピックアップをさわる
  - 本機で使用可能なディスク (P.20) 以外を入れる
  - ディスクを確実にセットしないでふたを閉める
- 電源スイッチが「切」の状態では、約3分ふたを開けたままにしていると、自動的に電源が切れます。
- 電源供給が無いとふたは開きません。





## ディスクを取り出すときは

ターンテーブルの中央部分を押しさえながら、ディスクの端の方をつまみあげるようにして取り出す。

本機から取り出した  
BD-R / DVD-RW (VF モード)、  
DVD-R を BD / DVD プレーヤー  
などで再生する前に →  
「ファイナライズ」して  
ください。(P.73)

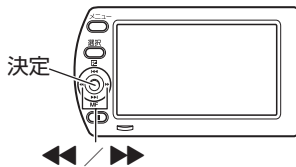
## ■ 新品の BD-RE / BD-R / DVD-RW は初期化が必要です

ディスクを入れると、自動的に初期化の確認画面が液晶画面に表示されます。以下の手順で初期化してください。

### ① 液晶モニターを開く

#### ご注意

初期化中に電源が切れると、そのディスクは使えなくなります。



### ② 「初期化しますか」と画面に表示されるので、[決定] を押す

BD-RE / BD-R の場合  
初期化が始まります。  
手順③はありません。

DVD-RW の場合  
手順③に進んでください。

### ③ DVD-RW の場合

記録フォーマットの選択画面が表示されるので、[決定] / [決定] で「VR モード」または「VF (ビデオ) モード」を選び、[決定] を押す

#### VR モード

撮影後、シーンを選択して削除したり、いろいろな編集が可能です。ファイナライズして、8cmDVD-RW(VR モード) に対応した機器で再生できます。

#### VF (ビデオ) モード

編集できませんが、ファイナライズすれば、DVD ビデオとして、他の DVD 機器で再生できます。

## バッテリーパックについて

### ■ バッテリーパックのチャージランプ (P.18) と充電時間

点灯	充電中	充電時間の目安 (約 25℃ の場合)	
消灯	充電完了	DZ-BP14S (付属品)	約 2 時間 45 分
		DZ-BP14SJ (別売品)	
		DZ-BP21SJ (別売品)	約 3 時間 55 分
点滅	「故障かな…」と思ったら」(P.92)		

### ■ バッテリーパックでの撮影時間

満充電されたバッテリーパックで使用できる時間は、以下の表を目安にしてください。

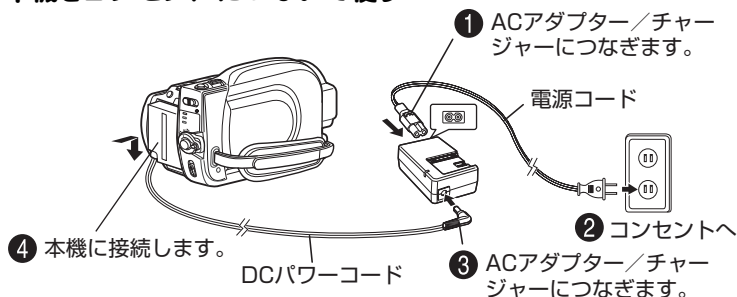
バッテリーの種類	記録するメディア	連続撮影時間 (液晶明るさが一番明るい場合)			実撮影時間 (液晶明るさが一番明るい場合)		
		HDD	BD/DVD	カード	HDD	BD/DVD	カード
DZ-BP14S (付属品)		約 1 時間 20 分	約 1 時間 10 分	約 1 時間 20 分	約 40 分	約 35 分	約 40 分
DZ-BP14SJ (別売品)							
DZ-BP21SJ (別売品)		約 2 時間	約 1 時間 45 分	約 2 時間	約 1 時間	約 50 分	約 1 時間

実撮影時間：ズーム、フォーカス、スイッチの切り替えなどをした場合の記録可能な時間をさします。

#### 【ご注意】

- 気温が低い場所では、使用できる時間は短くなります。
- 表の記載時間は参考値で、実際の撮影条件によって変わります。

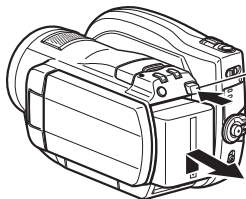
### ■ 本機をコンセントにつないで使う



DC パワーコード接続中は、バッテリーパックの充電はできません。



## ■ DC パワーコードやバッテリーパックを本機から取り外すには



- ① 電源スイッチを切ってください。
- ② [BATT] (バッテリーイジェクトボタン) を押しながら、DC パワーコードの端子、またはバッテリーパックを上にはずらします。落下に注意しながら取り外してください。

## ■ バッテリーパックを上手に使うために

バッテリーパックは使用していなくても、また本機から取り外していてもわずかに放電しています。本機の使用後は充電をしないで、お使いになる前の日などに充電することをおすすめします。

### 長期間使用しないときは

半年に 1 回程度満充電し、本機に取り付けた状態で使い切ってから、取り外してできるだけ湿度の低い涼しい場所に再度保管することをおすすめします。保管時はビニール袋などに入れて、端子がショートしないようにしてください。このとき、金属製ネックレスやクリップなどの金属類と同梱しないでください。

### バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックは消耗品であり、寿命はご使用の環境や使用頻度によって大きく異なります。満充電したバッテリーパックの使用時間が著しく短くなったら、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

### バッテリーパックの廃棄方法

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については  
有限責任中間法人 JBRC (2008年6月現在)

ホームページ：<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>



Li-ion

### パワーセーブとバッテリーパックの消耗

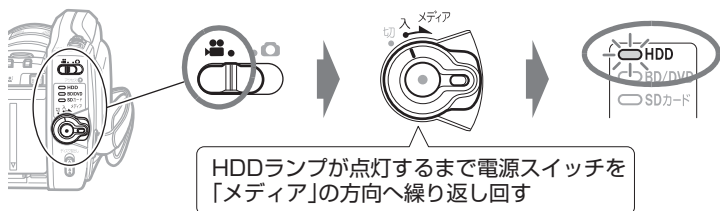
録画一時停止状態のときも、撮影時と同じくらいバッテリーパックは消耗しますので、撮影時以外はなるべく電源を切るようにしてください。

録画一時停止の状態が約 5 分続くと、自動的に電源が切れるようにパワーセーブを設定することができます。

パワーセーブを設定したり解除する方法は、P.40～41 (パワーセーブ) をご覧ください。

# HDD に動画を撮る

## 1 電源を入れる



## 2 録画ボタンを押す

録画が始まります。

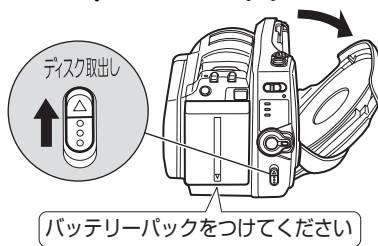
録画を止めるときは、もう一度録画ボタンを押します。



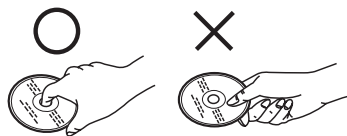
※ P.29 の撮影のヒントやご注意もお読みください。

# BD / DVD に動画を撮る

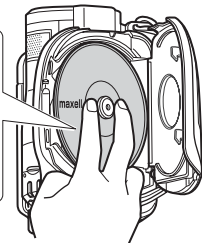
## 1 BD / DVD を入れる



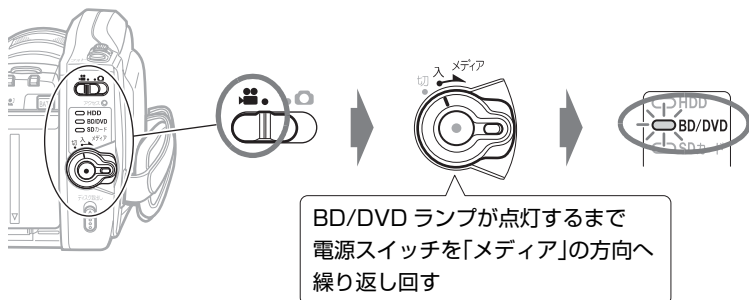
ディスクの持ちかた  
ディスクの記録できる部分には触れないように持ってください (P.11)。



BD / DVD の記録面を内側（本体側）にして入れてください  
（片面ディスクの場合、ラベル印刷面の反対側が記録面です）。



## 2 電源を入れる



新品の BD-RE / BD-R / DVD-RW を入れたときにディスク初期化のメッセージが表示された場合は、画面に従ってディスクを初期化してください (P.23)。DVD-RAM / DVD-R はそのまま録画できます。

## 3 録画ボタンを押す

録画が始まります。

録画を止めるときは、もう一度録画ボタンを押します。

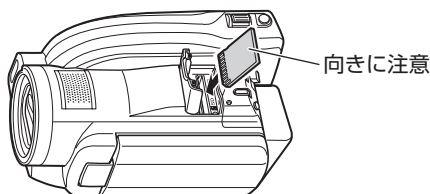


本機から取り出した BD-R / DVD-RW (VF モード)、DVD-R を BD / DVD プレーヤーなどで再生する前に → 「ファイナライズ」してください。(P.73)

※ P.29 の撮影のヒントやご注意もお読みください。

# カードに動画／静止画を撮る

## 1 カードを入れる



・使えるカードの種類については、P.21 をご覧ください。

## 2 電源を入れ、動画／静止画を撮る

### ■動画を撮るとき



SD カードランプが点灯するまで  
電源スイッチを「メディア」の方向  
へ繰り返し回す



### 録画ボタンを押す

動画の録画が始まります。

録画を止めるときは、もう一度録画  
ボタンを押します。



### ■静止画を撮るとき



### 【フォト】を押す

半分まで押しと、  
ピントが画面中央にある被写体に合  
います（フォーカスロック）。

完全に押し込むと撮影されます。

・リモコンのフォトボタンを押す  
と、ピント合わせをした後に撮影  
されます。



※ P.29 の撮影のヒントやご注意もお読みください。

## 撮影のヒント

- 撮影終了後、[決定]を押すと、撮影したシーンを確認(再生)できます。再生したシーンが不要の場合は、再生中に[メニュー]を押し、「編集」▶「シーン削除」を選んでください。シーンを削除することができます(HDD、BD-RE、DVD-RAM、DVD-RW(VRモード)、カード使用時)。
- 録画中の画面表示について詳しくは、P.30をご覧ください。
- 動画画質を切り替えることができます(P.50)。
- 静止画は、ワイドモードに切り替えることができます(P.51)。
- 以下のようなときは、「故障かな…と思ったら」(P.92)をご覧ください。撮影ができない、撮影開始するまでに時間がかかる、カメラが動作しない
- オートレンズカバーが開閉の途中で停止した場合には、電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。
- 被写体を中央に配置しない構図で静止画を撮影したいときは、最初に被写体を画面中央で捉えて[フォト]を半押しします。次に、半押ししたまま撮影したい構図を決め、全押しします。
- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスを選択し、手でピントを合わせてください(P.44)。
- 記録時間と記録枚数については、P.124をご覧ください。

## ご注意

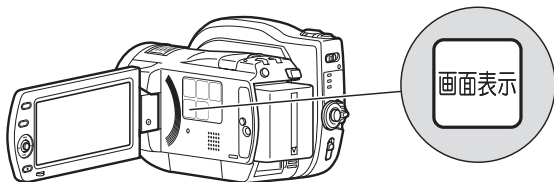
- 記録中に電源スイッチを切らないままバッテリーパックやACアダプター/チャージャーを外さないでください。記録した映像が消失します。
- 撮影後、アクセスランプやカードアクセスランプが点灯/点滅しているときや、「カードに保存中です」などのメッセージが表示されているときは、以下のことをしないでください。正しく記録されず再生できなくなることがあります(P.14、15、100)。
  - 電源を切る、バッテリーパックやACアダプター/チャージャーを外す
  - 振動を加える
- 動画の最短記録時間は約3秒です。録画中、3秒未満で録画ボタンを押しても、約3秒は録画されています。
- プロテクト設定したBD/DVD、ロックしたカードには録画できません(P.21、67)。
- 手持ちで撮影するときは映像にブレが生じることがありますので、脇をしめ、両手で本機を支えるようにしてください。
- ズームの倍率を大きくして撮影するときは、本機を三脚などで固定することをおすすめします。
- 液晶画面の映像と、記録映像に差が生じることがあります。

## ■ 撮影時の画面表示について

### 画面表示ボタンの使いかた

液晶モニターには、撮影時のいろいろな情報が表示されます。[画面表示] を押して、すべての情報を表示したり、一部表示にしたりできます。

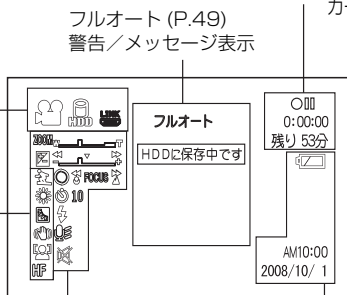
約 1 分間本機の操作を何もしないと、画面表示が自動的に消えます。もう一度画面表示をさせるには [■] (停止/キャンセル) を押してください。



### 撮影時の画面表示

詳細については次ページの説明をご覧ください。

- 1 記録モード
- 2 HDD / BD / DVD / カード種別
- 3 Wooo リンク
- 4 プログラム AE
- 5 ホワイトバランス
- 6 逆光補正
- 7 手ブレ補正
- 8 顔ピタ
- 9 動画記録画質
- 10 ズーム
- 11 露出
- 12 マニュアルフォーカス
- 13 セルフタイマー
- 14 フラッシュ
- 15 マイクフィルター
- 16 HDMI 音声出力
- 17 バッテリー残量表示  
現在時刻
- 18 録画状態  
録画時間
- 19 HDD / BD / DVD /  
カード残量表示



※ 画面は説明例です。  
実際の表示とは異なります。

## 1 記録モード (P.26、28)



: 動画



: 静止画 (カードのみ)

## 2 HDD / BD / DVD / カード種別 (P.20)



: HDD



: BD-RE



: ファイナライズ済みの BD-RE



: BD-R



: ファイナライズ済みの BD-R



: DVD-RAM



: DVD-RW (VR モード)



: DVD-RW (VF モード)



: ファイナライズ済みの DVD-RW (VR モード)



: ファイナライズ済みの DVD-RW (VF モード)



: DVD-R



: 本機でファイナライズ済みの DVD-R

※ BD / DVD のアイコンに がついているときは、プロテクトされています。



: カード



: ロックされたカード

※ 本機以外で記録などをし、本機では記録できないディスクやカードは、オレンジ色で表示されます。

表示なし<sup>\*1</sup>

## 3 Wooo リンク (P.71)

表示なし : Wooo リンクをしない



: Wooo リンク中

## 4 プログラム AE (P.45)

表示なし : オート



: ポートレート



: サーフ&amp;スノー



: スポットライト



: ローライト

## 5 ホワイトバランス (P.46)

表示なし : オート



: セット



: 屋内



: 屋外



: 蛍光灯

## 6 逆光補正 (P.45)



: 逆光補正オン (表示なしはオフ)

## 7 手ブレ補正 (P.47)



: 手ブレ補正オン (表示なしはオフ)

## 8 顔ピタ (P.48)

(HDD / BD / カード使用時)

表示なし : 顔ピタオフ



: 顔ピタオン

: 顔ピタ禁止  
デジタルズーム中に表示されます。

## 9 HD 動画記録画質

(HDD / BD / カード使用時) (P.50)

HX : 高画質 HS : 長時間

HF : 標準画質

SD 動画記録画質 (DVD 使用時) (P.50)

SX : 高画質 SF : 標準画質

## 10 ズーム (P.43)

ZOOM 現在のズーム位置  
デジタルズーム : オフ

ZOOM デジタル領域  
デジタルズーム : 40 倍 (動画録画時)

ZOOM 光学の最大  
デジタルズーム : 240 倍 (動画録画時)

## 11 露出 (P.45)

表示なし : オート




: マニュアル

**12** マニュアルフォーカス (P.44)


表示なし : オート

 : マニュアル**13** セルフタイマー (静止画撮影時) (P.51)


表示なし : セルフタイマーオフ

 : セルフタイマーオン  
10秒よりカウントダウン**14** フラッシュ (静止画撮影時) (P.49)




表示なし : 自動発光 オート

 : 強制発光 オン : 発光禁止 オフ**15** マイクフィルター (動画録画時) (P.48)

表示なし : マイクフィルターオフ

 : マイクフィルターオン**16** HDMI 音声出力 (P.68)HDMI 接続の場合、再生時以外は本機から  
音声が出力されません。

表示なし : 音声が出力されます

 : 音声が出力されません**17** バッテリー残量表示 (P.24)  
満充電 → 残量少ない**18** 録画状態 **記録** : 記録中  : 録画一時停止中 (緑色点灯)  
静止画撮影時 (緑色点灯)  
フォーカスロック (紫色点灯)

表示なし\*3

**19** HDD / BD / DVD / カードの残量\*4残り○○時間○分\*5 : 動画撮影時の  
残り録画時間 (分)残り○枚\*6 : 静止画撮影時の  
残り撮影枚数 (枚)

\*1: ディスクやカードが入っていないときや、本機では使えないディスクやカードが入っていると表示されません。

\*2: アイコン表示中に、テレビのリモコンの「上下左右」「決定」「戻る」を操作するとWoooリンクメニューを表示します。

\*3: ディスクやカードが入っていないときや、初期化されていないディスク、プロテクトされたディスクやロックされたカード、HDD / ディスク / カードに残量がないときは表示されません。

\*4: プロテクトされたディスクやロックされたカード、ファイナライズされた BD-RE / BD-R / DVD-RW (VF モード) / DVD-R は、残量が表示されません。

\*5: 録画できる時間は目安です。撮影条件により異なります。

\*6: 表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、枚数が減らないことがあります。

**■ 撮影中のバッテリーパックの消費量をおさえる**

秒撮設定を「オン」に設定してください (P.41)。(初期設定は「オン」です。)

**1** 電源スイッチが「入」の状態、録画一時停止状態のときに、液晶モニターを閉じる

メディア (HDD、BD/DVD、SD カード) ランプが点滅し、秒撮待機状態になります。

**2** 液晶モニターを開く

約 1 秒で、録画可能な状態 (録画一時停止) になり、メディアランプが点灯に変わります。

• 下記の場合は待機状態になりません。

- 再生中
- ディスクやカードが入っていない
- HDD、ディスク、カードに残量がない
- 記録できないディスクやカードが入っている

• 秒撮待機から録画一時停止になると、各設定は初期設定に戻ります。ズームの位置は秒撮待機に入る前の状態に戻ります。

• パワーセーブの設定 (P.41) にかかわらず、秒撮待機が 30 分続くと自動的に電源が切れます。このときは、電源スイッチを「切」に一度合わせたあと、再度「入」にしてください。

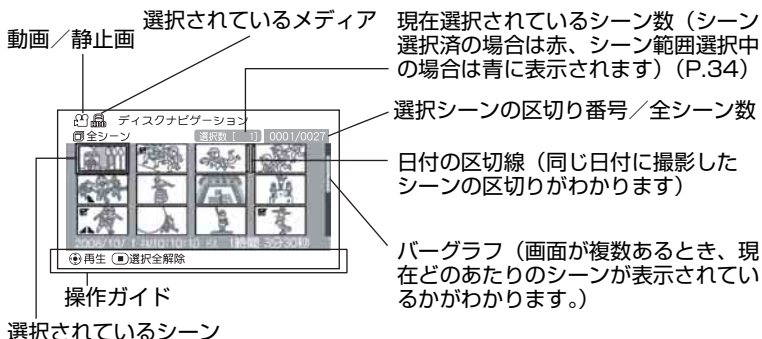
• 秒撮待機中は、レンズカバーが閉まります。



## ■ 撮影した映像を見る

### ① [見る] を押す

シーンの一覧 (ディスクナビゲーション画面) が表示されます。



### ② [◀◀] / [▶▶] (上下、前後ページ) / [◀◀] / [▶▶] (左右方向) を押して、シーンを選ぶ

・ 押し続けると、選択が速く移動します。「選択シーン番号 / 全シーン数」やバーグラフを目安にしてください。

### ③ [決定] を押す

選んだシーンが再生されます。

最後のシーンの最後の場面で、再生一時停止になり、[▶] (最後の場面での一時停止マーク) が表示されます。この状態が5分以上続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。

・ すぐにディスクナビゲーション画面に戻すには [■] または [見る] を押します。

録画一時停止に戻すには、もう一度 [■] または [見る] を押し

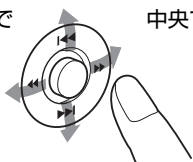
ます。[▶] が表示されているときに [決定] を押すと、先頭シーンから再生されます。



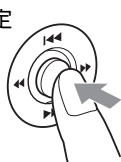
項目を選ぶときは、ジョイスティックを上下左右に動かします。

項目を決定するときは、[決定] (ジョイスティックのまん中) を押し

上下左右で  
選択



中央で決定



ジョイスティック

## ■ 複数シーンを選んで再生する

「撮影した映像を見る」(P.33)の手順①で、下の表から目的を選んで操作してください。シーン選択後、[決定]を押すと選んだシーンの再生が始まります。

- 999シーンまで選択できます。
- 操作により、カーソル枠の色が変わりますが、次のことを示しています。  
黄：現在位置、赤：選択済、青：範囲選択中、2色枠：両方の意味

複数のシーンを個々に選ぶ	[◀◀] / [▶▶] / [◀◀] / [▶▶] でシーンを選び、 [選択]を押す これを繰り返して次のシーンを選びます。
現在のシーンを起点として前後の連続した複数シーンを選ぶ	① [選択] を長押しし、カーソル枠を青くする ② [◀◀] / [▶▶] / [◀◀] / [▶▶] で終点となるシーンを選び、[決定] を押す
現在のシーンから、先頭までのシーンをすべて選ぶ「先頭からカーソル」	① [メニュー] を押し [▶▶] で「シーン」を選び、 [◀◀] / [▶▶] で「選択」を選ぶ ② [決定] または [▶▶] を押す ③ [◀◀] / [▶▶] で目的の項目を選んだあと、 [決定] を押す
現在のシーンから、末尾までのシーンをすべて選ぶ「カーソルから末尾」	
全部のシーンを選ぶ「全て」	
範囲選択中(青枠表示中)、操作を中止する	[■] を押す
選択済のシーンを個々に解除する	選択済のシーン(赤)にカーソル枠(黄)を合わせ、 [選択] を押す
選択済のシーンをすべて解除する	[■] を押す

## ■ 指定した場面へジャンプする

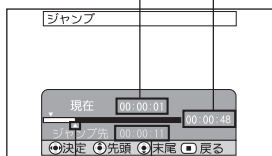
- 1 「撮影した映像を見る」(P.33)の手順③の状態(シーン再生中)で、[メニュー]を押す  
メニューが表示されます。
- 2 [◀◀] / [▶▶] で「ジャンプ」を選び、[▶▶]を押す
- 3 [◀◀] / [▶▶] でジャンプしたい項目を選び  
先頭: 先頭にジャンプして、再生一時停止します。  
末尾: 最後のシーンの末尾にジャンプして、再生一時停止します。  
指定: 任意の場面にジャンプして、再生一時停止します。詳細は下記「ジャンプ先を指定するには」を参照してください。
- 4 [決定]を押す

### ● ジャンプ先を指定するには

上記の手順3で「指定」を選び、  
[決定]を押す  
ジャンプ先指定の画面が表示されます。

1

記録時間合計の長さ  
現在の再生画の位置



カーソル カーソルの位置

2

[◀◀] / [▶▶] / [◀] / [▶] で  
任意の時間を選ぶ  
[◀◀]: 先頭シーンの頭に移動します。  
[▶▶]: 最後のシーンの末尾に移動します。  
[◀] / [▶] を1回押す:  
HDDでは1分 (BD / DVD /  
カードの動画は10秒、静止画は1  
枚) 単位でカーソルを移動します。

[◀◀] / [▶▶] を押し続ける:  
HDDでは10分 (BD / DVD /  
カードの動画は1分、静止画は10  
枚) 単位でカーソルを移動します。

3

[決定]を押す  
指定した位置にジャンプして、再  
生一時停止します。  
• [決定]をもう1回押すと、再生を開始し  
ます。



- 途中でやめたい場合は、ジャンプする前に [■] を押します。
- 静止画の場合は、先頭、現在、末尾、ジャンプ先の表示部に枚数が表示されます。

#### ご注意

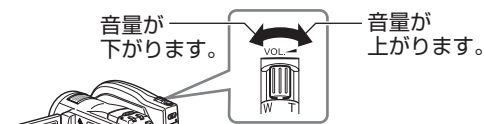
カーソルの位置は目安です。カーソルは同じ間隔で移動しない場合があります。

## 注意

- 画素数の大きな静止画の場合、シーンが表示されるまでに時間がかかります。
- 以下のようなときは、電源を入れると自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
  - BD / DVD がプロテクトされている、カードがロックされている
  - ファイナライズ済みの BD-RE / BD-R / DVD-RW (VF モード) / DVD-R が本機に入っている
  - 本機以外で記録をし、本機では記録できないディスクやカードが本機に入っている

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

## ■ 動画再生中、スピーカーの音量を調節する



HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

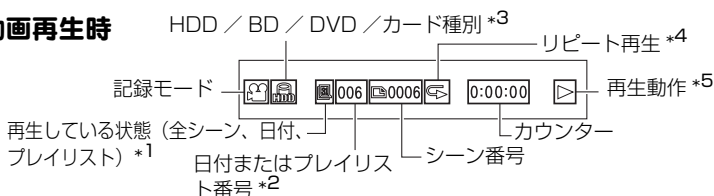
## ■ 再生時の画面表示

再生する映像に重なって、いろいろな情報が表示されます。[画面表示]を押すごとに、表示なし → 再生情報表示 → 日付表示 に切り替わります。

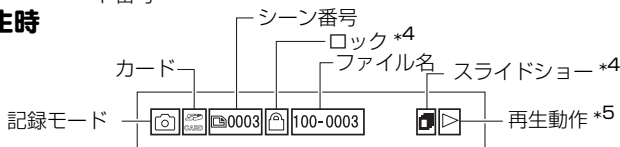
## 画面表示モード

再生中の状態を表示します。

### 動画再生時



### 静止画再生時



\*1 プレイリスト、日付、または全シーン

\*2 全シーンを再生中は表示されません。

\*3 P.31の「HDD / BD / DVD / カード種別」をご覧ください。

\*4 設定されているときに表示されます。(P.38、65)

\*5 再生動作には以下があります。(操作の仕方は次ページをご覧ください。)

▶ : 再生中

■ : 再生一時停止中

▶▶ : 正方向サーチ再生中

◀◀ : 逆方向サーチ再生中

▶▶▶ : 正方向スキップ再生中

◀◀◀ : 逆方向スキップ再生中

▶▶▶▶ : 正方向コマ送り再生中

◀◀◀◀ : 逆方向コマ送り再生中

◀◀ : 正方向スロー再生中

▶▶ : 逆方向スロー再生中

(最初の場面では、◀◀が、最後の場面では、▶▶が表示されます。)

## ■ 再生中、一時停止中にボタン1つで操作できる機能

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW)(VR) (RW)(VF) (R) カード

### 動画（再生中）

機能	再生中に押す
一時停止	[決定]
液晶画面に「■」(途中場面での一時停止マーク)が表示されます。	
早送り/早戻し	[▶▶] / [◀◀] (押し続ける)
頭出し (スキップ)	[▶▶▶] / [◀◀◀]
<p>[▶▶▶] を押すと次のシーンの頭から、[◀◀◀] を押すと、再生中のシーンの頭から(続けて押すとそのたびにシーンを1つずつスキップして)再生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初に [◀◀◀] を押したところが最初の場面から数秒のときは、再生中の前のシーンの頭にスキップします。</li> <li>最後のシーンで [▶▶▶] を押すと、最後の場面で再生一時停止となります。</li> </ul>	
連続頭出し (連続スキップ)	[▶▶▶▶] / [◀◀◀◀] (押し続ける)
再生中の次/前のシーンから、連続頭出しが始まります。見たい場面でボタンをはなします。	

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW)(VR) (RW)(VF) (R) カード

### 動画（再生一時停止中）

以下の機能は、再生一時停止中も、再生中と同様に働きます。ボタンをはなすと、再生一時停止になります。

- 頭出し(スキップ)
  - 連続頭出し(連続スキップ)
- 他にも、以下の操作ができます。

機能	一時停止中に押す
コマ送り/ コマ戻し	[▶▶] / [◀◀]
<p>押すたびに1コマずつ進み/戻ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 音声は出ません。</li> <li>• コマ送りの間隔は約0.03秒、コマ戻しの間隔は約0.5秒です。</li> </ul>	
スロー再生/ 逆スロー再生	[▶▶▶] / [◀◀◀] (押し続ける)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音声は出ません。</li> <li>• スロー再生は約0.03秒間隔で、逆スロー再生は約0.5秒間隔で再生されます。</li> </ul>	

#### ご注意

スロー再生では、動きの激しい被写体の画像がブレることがあります。

カード

### カードの静止画再生中

機能	再生中に押す
前後のシーンを 選ぶ	[▶▶▶] [▶▶▶] / [◀◀◀] [◀◀◀]
<p>[▶▶▶] または [▶▶▶] を押すと次のシーンを、[◀◀◀] または [◀◀◀] を押すと前のシーンが再生されます。押し続けると、はなすまで順次再生されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動連続再生、スライドショー機能もあります。</li> </ul>	

見る

カード

## ■ カードの静止画を自動連続再生する(スライドショー)

スライドショーをオンにして再生すると、静止画が次々に再生されます。シーンの範囲指定がされているときは、その範囲内でスライドショー再生されます。

- 1 ディスクナビゲーション画面(P.33)で、[メニュー]を押す
- 2 [◀◀] / [▶▶] を押して、「再生設定」を選び、[▶▶] を押す
- 3 「スライドショー」を選び、[▶▶] を押して「オン」を選ぶ
- 4 [メニュー]を押してメニューを消し、ディスクナビゲーション画面からシーンを選ぶ  
スライドショーが始まります。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) Rカード

## ■ 動画から静止画を切り出す(静止画キャプチャー)

再生中の動画の一場面を、静止画(約207万画素(HDD / BD / カード) / 約31万画素(DVD))としてカードに保存します。

- 1 再生中、切り出したい場面で[フォト]か[メニュー]を押す  
[フォト]を押した場合は、手順④に、[メニュー]を押した場合は手順②に進んでください。
- 2 [◀◀] / [▶▶] を押して、「編集」を選び、[▶▶] を押す
- 3 「静止画キャプチャー」が選ばれていないときは、[◀◀] / [▶▶] を押して選び、[決定]を押す

- 4 [◀◀] を押して「はい」を選び、[決定]を押す

- キャプチャーをやめるときは、「いいえ」のまま[決定]を押すか、[■]を押します。
- キャプチャーする静止画の画質を設定できます。手順③で「静止画キャプチャー設定」▶「フィールド」または「フレーム」を選んでください。(初期設定は「フィールド」です。本機の電源を切ると、初期設定に戻ります。)

「フィールド」：動きの多い画像の記録に適しています。

「フレーム」：高画質ですが、ブレが生じやすいので、動きの少ない画像の記録に適しています。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) Rカード

## ■ 繰り返し再生する(リピート再生)

シーンの範囲指定がされているときは(P.34)、その範囲内での再生が繰り返されます。

- 1 ディスクナビゲーション画面(P.33)で、[メニュー]を押す
- 2 [◀◀] / [▶▶] を押して、「その他設定」を選び、[▶▶] を押す
- 3 [◀◀] / [▶▶] を押して、「リピート再生」を選び、[▶▶] を押す
- 4 [◀◀] / [▶▶] を押して「オン」を選び、[決定]を押す
- 5 [メニュー]を押して、ディスクナビゲーション画面に戻す

## ⑥ [決定]を押して、再生する

- 再生を終了するには、[■]を押します。(リピート再生はオンのままです。)
- 録画一時停止した状態から再生したときは、リピート再生されません。



リピート再生／スライドショーは、以下をすると「オフ」になります。

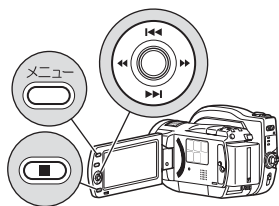
- 手順④で「オフ」を選ぶ
- 電源を切る
- BD / DVD / カードを取り出す

# いろいろな撮影テクニック

## メニュー操作について

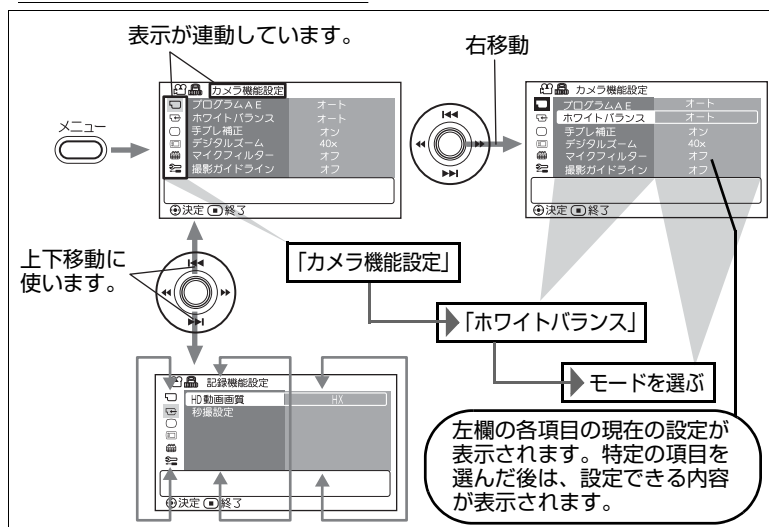
「いろいろな撮影テクニック」のうち、多くの機能が、メニューを使います。

メニュー操作の手順は、例えば以下のように記述されています。



**1** [メニュー]を押す

**2** 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶モードを選ぶ



**3** [決定]を押し、[メニュー]で終了



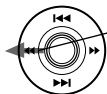
※変更をやめるときは、[決定]を押す前に、[メニュー]を押します。

1つ前の画面に戻るとき



ほぼ同様に働きます。

左方向に戻るとき





## メニュー（撮影時、初期設定）

メニュー項目 (1階層め)	メニュー項目 (2階層め)	動画／静止画の 選択と使える機能		お買い上げ 時の設定	参照先
					
カメラ機能設定	プログラム AE	●	●	オート	P.45
	ホワイトバランス	●	●	オート	P.46
	手ブレ補正	●	●	オン	P.47
	デジタルズーム	●		40×	P.43
	マイクフィルター	●		オフ	P.48
	フラッシュ		●	オート	P.49
	撮影ガイドライン	●	●	オフ	P.48
記録機能設定	HD 動画画質 (HDD / BD / カードの場合)	●		HX	P.50
	SD 動画画質 (DVD の場合)	●		SF	P.50
	ワイドモード		●	ノーマル (4:3)	P.51
	セルフタイマー		●	オフ	P.51
	秒撮設定	●	●	オン	P.32
出力機能設定	コンポーネント出力設定	●	●	D3	P.69
	Wooo リンク設定	●	●	オン	P.71
液晶設定	液晶調節	●	●		P.41
日付機能設定	日付設定	●	●	2008 / 1 / 1 AM0:00	P.19
	表示モード	●	●	年 / 月 / 日	P.42
初期設定	操作音	●	●	オン	P.41
	パワーセーブ	●	●	オフ	P.41
	録画ランプ	●	●	オン	P.50
	言語切替	●	●	日本語	P.41
	デモモード	●	●	オート	P.42
	設定リセット	●	●	—	P.41

### ■ 液晶設定と初期設定について

	メニュー項目		機能説明
液晶設定	液晶調節	色のこさ	液晶モニターの色のこさを調節できます。
初期設定	操作音		オンにすると操作音が鳴り、オフにすると操作音が鳴らなくなります。
	パワーセーブ		オンのときは、録画一時停止で約 5 分間何も操作をしないと自動的に電源が切れます。 オフのときは手動でのみ電源が切れます。
	録画ランプ		P.50
	言語切替		日本語 / 英語を切り替えます。
	デモモード		P.42
	設定リセット		メニューを初期状態に戻します。

## 日時の設定について

手順は、「日時を設定・確認する（お買い上げ時や久しぶりに使う場合）」(P.19)をご覧ください。

### ご注意

本機は日付と時刻を記憶しておくための充電式電池を内蔵しています。内蔵電池がなくなると、日付がリセットされてしまいます。6ヶ月に1回、本機をコンセントにつなぐか、充電したバッテリーパックを本機に取り付け、24時間電源を切った状態でおいてください。内蔵電池が充電されます。

## 年／月／日の表示順序を入れ替えるには

「月／日／年」や「日／月／年」の表示順にすることもできます。（「日／月／年」を選ぶと、時刻表示は24時間制になります。）

- ① [メニュー] を押す
- ② 「日付機能設定」▶「表示モード」▶年月日の表示順序を選ぶ
- ③ [決定] を押し、[メニュー] で終了

## ■ デモンストレーション（デモ）機能について

お買い上げ時は、「オート」に設定されています。  
ACアダプター／チャージャーにつないで、本機の電源を入れ、記録メディア（BD／DVD／カード）が入っていない状態で約10分間何も操作しないと、自動的にデモが始まります。

- キャンセルするには、どれかボタンを押してください。

### 機能をオフにしたいとき、すぐ見たいとき

- ① [メニュー] を押す
- ② 「初期設定」▶「デモモード」  
以下より設定を選ぶ  
オート：上記  
オフ：機能をオフにします。  
スタート：すぐにデモが始まります。デモをキャンセルすると、元の設定（オートまたはオフ）に戻ります。
- ③ [決定] を押す

### ご注意

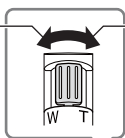
- バッテリーパックをお使いのときに「オート」に設定してもデモは始まりません。
- パソコンと接続しているときは、デモ機能は働きません。

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) カード

## 大きく撮る (光学ズームとデジタルズーム)

ズームレバーを少し倒すとゆっくりズームし、大きく倒すと速くズームします。光学10倍が望遠の最大です。静止画撮影(カード使用)時は、光学ズームのみ働きます。

W: 広角  
広い範囲で  
撮れます。



T: 望遠  
大きく撮れ  
ます。



ズームの最大値は、40倍または240倍に設定できます。

## 「デジタルズーム」を設定する

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「デジタルズーム」▶デジタルズームの設定を選ぶ

- ・「オフ」(デジタルズームを使用しない)/「40×」/「240×」に設定できます。

3 [決定] を押し、[メニュー] で終了

- ・設定は電源を切っても記憶されます。



リモコンの [デジタルズーム] を押すたびに以下のように切り替わります。  
「オフ」→「40×」→「240×」

### ご注意

- ・ズーム操作をしたときに、一瞬ピントがずれることがあります。
- ・デジタルズームが加わると、画質が粗くなります。

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) カード

## 至近距離からの撮影 (接写)

至近距離から撮影するときは、レンズ面に約2cmまで近づいて、拡大して撮影できます。

## 接写のしかた

1

被写体に本機を向け、ズームレバーをW(広角)側いっぱいにする

- ・画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。

### ご注意

被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。

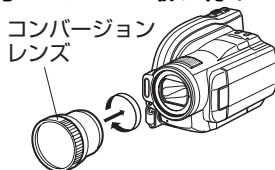
HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) カード

## 別売のレンズで、より広角に、より望遠で撮影する

テレコンバージョンレンズ DZ-TL43(別売)を使うとより望遠に、ワイドコンバージョンレンズ DZ-WL43(別売)を使うとより広角に、撮影できます。

フィルター径 43mm、ネジピッチ 0.75mmのものをご使用ください。

## 別売のレンズの取り付けかた



いろいろな撮影テクニック

**ご注意**

- DZ-TL43 を装着した場合は、T 端（望遠側）のピントの合う範囲が約 3m から無限遠の範囲になります。
- ホワイトバランスが動作しない場合は、ホワイトバランスを手動で調整してください (P.46)。
- ズームしたときに W 側 (広角側) で画面の四隅が暗くなったり、欠けたりする場合があります。(四隅の暗さは均一ではない場合があります。)
- ワイドコンバージョンレンズを装着し、静止画モードにした場合は、W 側 (広角側) で画面の四隅が暗くなります。少し W 側よりズームを戻してお使いください。
- レンズを交換する際に、本機が落下しないようご注意ください。
- フラッシュは使用できなくなります。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください (P.49)。

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (AV(VR)) (AV(VF)) (R) カード

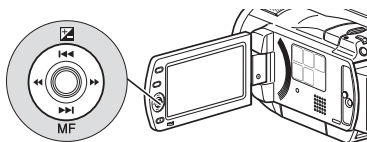
**ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス)**

本機のピントは自動で合いますが (オートフォーカス)、ピントが合いにくい場合は、手動でピント合わせをしてください (マニュアルフォーカス)。

**ピントの合う範囲**

- T (望遠) 側: レンズ面より約 1m から無限遠
- W (広角) 側: レンズ側より約 2cm から無限遠

**マニュアルフォーカスのしかた**

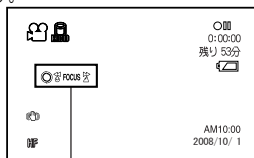


録画中、または録画一時停止中に

**[▶▶] (MF)** を押す

液晶画面にフォーカスアイコンが表示されます。

1



マニュアルフォーカスアイコン

- もう一度 **[▶▶]** を押すと、オートフォーカスに戻ります。アイコンはマニュアルフォーカス時のみ表示されます。

2

**[◀◀] / [▶▶]** でピントを調整する

- 電源を切ると、オートフォーカスに戻ります。



- 手動でピントを合わせるときは、ズームレバーを T 側に動かして被写体を大きく写してください。W 側にしたときにピントがずれることはありません。

- マニュアルフォーカスでピントを調整中に **[◀◀]** を押すと、露出を調整できます。このとき、液晶画面に露出バーがオレンジ色に表示されます。**[▶▶]** を押すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

- 以下のようなときは、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

中央に被写体がない、遠くと近くの両方に被写体がある、被写体の動きが速い、被写体が暗い、夜景、白い壁など明暗差がほとんど無い被写体、など

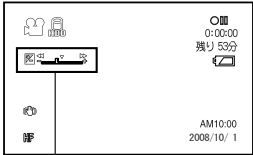
HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (AV(VR)) (AV(VF)) (P) カード

## 撮影画像の明るさを調整する (露出)

通常は、自動で露出を調整するようになっていて、撮影状況に応じて、手で露出を調整することもできます。

### 手動露出調整のしかた

1 録画中、または録画一時停止中に  
[◀▶] (⏮) を押す  
液晶画面に露出バーが表示されます。



露出バー

- もう一度 [◀▶] を押すと、自動調整に戻ります。手動調整時のみバーが表示されます。

2 [◀▶] / [▶▶] で露出を調整する

- 電源を切ると、露出は自動調整に戻ります。

[M] (MF)

露出を調整中に [▶▶] を押すと、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。このとき、液晶画面にマニュアルフォーカスアイコンがオレンジ色に表示されます。  
[◀▶] を押すと、露出調整に戻ります。

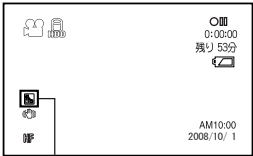
HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (AV(VR)) (AV(VF)) (P) カード

## 逆光を補正する (逆光補正)

逆光のとき、被写体が暗くならないように補正できます。

### 逆光補正のしかた

1 撮影時に、[逆光補正] を押す  
液晶画面に逆光補正アイコンが表示されます。



逆光補正アイコン

- [逆光補正] を押すたびに、オンとオフが切り替わります。オンのときのみ、逆光補正アイコンが表示されます。
- 逆光補正の設定は、電源を切るとオフに戻ります。


HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (AV(VR)) (AV(VF)) (P) カード


## 状況に合った撮影モードを選ぶ (プログラム AE)

状況に応じて撮影モードを選べば、より意図した撮影ができます。

### 撮影モード

#### オート (表示なし)

 **ポートレート**  
背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

 **スポットライト**  
結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



## サーフ&スノー

真夏の海辺やスキー場など、照り返しの強い場所で人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。



## ローライト

暗いところで少ない明かりで撮影できるモードです。

## 撮影モードの選びかた

1

[メニュー]を押す

2

「カメラ機能設定」▶「プログラムAE」  
▶撮影モードを選ぶ

3

[決定]を押し、[メニュー]で終了  
選んだ撮影モード（オート以外）が液晶  
画面に表示されます（P.30）。  
• 撮影モードは、電源を切っても記憶され  
ています。

### ご注意

- 暗いところで撮影するとき、動きのある被写体や手ブレがある場合、残像が出ます。本機を三脚などで固定することをおすすめします。

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) カード

## 色合いを調整する (ホワイトバランス)

色の調整をしたいとき、ホワイトバランスの設定を変えることができます。

## ホワイトバランスモード

オート（表示なし）



### セット

光源や状況に合わせて、手動で設定できます。



## 屋外

晴天下のときに合わせます。



## 屋内

白熱灯やハロゲンランプ、電球  
色系蛍光灯のときに合わせます。



## 蛍光灯

蛍光灯のときに合わせます。

## ホワイトバランスのモードの 選びかた

1

[メニュー]を押す

2

「カメラ機能設定」▶「ホワイトバラン  
ス」▶ホワイトバランスのモードを選ぶ

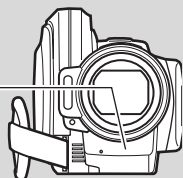
3

[決定]を押し、[メニュー]で終了  
選んだホワイトバランスのモード（オート  
以外）が画面に表示されます（P.30）。  
• ホワイトバランスのモードは、電源を  
切っても記憶されています。

### ご注意

良い色あいで撮影するために、赤外線  
センサーの前を手などでふさがらないで  
ください。

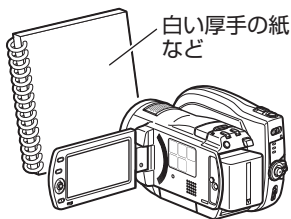
赤外線センサー



## ■ ホワイトバランスを手動で 設定する（セット）

裏が透けない、白い厚手の紙などをご  
用意ください。

画面いっぱいに、白い被写体を映す



1

2 [メニュー] を押す

3 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶「セット」

4 [決定] を押す  
液晶画面に、「☑」が点滅します。

5 再度 [決定] を押し、そのままはなさず押し続ける  
しばらくすると、点滅している「☑」が点灯にかわり、ホワイトバランスの設定が完了します。  
[決定] をはなしてください。

6 終了する場合は [■] を、やり直す場合は再度手順 5 を行う

- 「セット」に設定されたホワイトバランスは、次に設定し直すまで記憶されています。
- 色合いを正確に合わせるため、撮影条件が変わるたびに「セット」を設定し直してください。  
注意をうながすため、ホワイトバランスのモードを「セット」にしたまま電源を切ると、次に電源を入れたときに液晶画面に「☑」が点滅します。

#### ご注意

- 暗い場所ではうまく設定できないことがあります。またズームバーがデジタル領域 (P.31) にあるときは、ホワイトバラ

ンスの「セット」の設定ができません。ホワイトバランスの設定ができないときは、「☑」が点滅したままになります。

- 「セット」の設定が完了しないまま、時間が経って録画一時停止に戻った場合は、液晶画面に「☑」が点滅しています。もう一度手順 1 からやり直してください。

HDD ●D-RE ●D-R ●RAM ●RW(VR) ●RW(VF) ●カード

## ブレを少なくして撮る (手ブレ補正)

手ブレを自動で補正します。

### 手ブレ補正をオン、オフする

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「手ブレ補正」▶「オン」/「オフ」

3 [決定] を押し、[メニュー] で終了  
「オン」にすると、液晶画面に「(〰〰〰)」が表示されます (P.30)。

- 手ブレ補正の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 「オフ」にした場合、いつも「オフ」で撮影するのでなければ、撮影後は「オン」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

#### ご注意


- 手ブレ補正が働いていると実際の動きと画面の動きに若干の差が生じます。
- 手ブレ補正が「オン」になっていても、手ブレが大きすぎると補正されないことがあります。脇をしめ、本機を両手で支えて撮影することをおすすめします。
- テレコンバージョンレンズやワイドコンバージョンレンズを使用しているときは手ブレ補正が正しく動作しないことがあります。
- 本機を台の上に置いたり、三脚を使用する場合は、手ブレ補正機能をオフにして撮影することをおすすめします。


HDD BD-RE BD-R カード





## 人物の顔にピントと露出を自動で合わせる(顔ピタ)

人物の顔(最大で5人)を自動検知し、緑色の枠を表示します。


### 顔ピタをオン、オフする

[>]を押す

顔ピタがオンになると、液晶画面に[]が表示されます(P.30)。

- 顔ピタの設定は、電源を切っても記憶されています。
- ズームがデジタル領域(P.43)のときは、顔ピタがオンでも、顔ピタは働かず、[]が表示されます。ズームを光学領域にすると、表示が[]に変わり、顔ピタが働くようになります。(デジタル領域でも、顔ピタのオンオフは可能です。)
- 以下の場合、顔ピタはオフになります。
  - プログラムAEを「オート」以外にしたとき  
(プログラムAEが「オート」以外になるときに[]を押すと「オート」になり、顔ピタがオンになります。)
  - 逆光補正、手動露出、マニュアルフォーカスを使ったとき  
(これらの機能使用中に[]を押すと、機能がキャンセルされ、顔ピタがオンになります。)

#### 注意

- DVDのときは、顔ピタ機能、[]は働きません。
- 撮影する環境によっては、顔の部分を検出できないことがあります。
- 撮影対象によっては、顔ではないところを顔と判断してしまうことがあります。

- 撮影する環境によっては、顔ピタの正しい効果が得られないことがあります。その場合は顔ピタをオフにしてください。

HDD BD-RE BD-R RAM (RW/VR) (RW/VF) R カード

## 撮影ガイドラインを表示させる

撮影時に、映像の水平と垂直を確認するために補助線を表示させます。構図のバランスを見る目安になります。

### 撮影ガイドラインをオン、オフする

- 1 [メニュー]を押す
- 2 「カメラ機能設定」▶「撮影ガイドライン」▶「オン」/「オフ」
- 3 [決定]を押し、[メニュー]で終了  
「オン」にすると、液晶画面に縦横のガイドラインが表示されます。

HDD BD-RE BD-R RAM (RW/VR) (RW/VF) R カード

## 風の音を低減させて撮る

動画を記録する場合、「マイクフィルター」を「オン」にすると、本機の内蔵マイクで録音するときに、マイクに入る音のうち、低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

### マイクフィルターをオン、オフする


- 1 [メニュー]を押す



2

「カメラ機能設定」▶「マイクフィルター」▶「オン」/「オフ」

3

[決定] を押し、[メニュー] で終了  
「オン」にすると、液晶画面に「」が表示されます (P.30)。

- マイクフィルターの設定は、電源を切っても記憶されています。
- 「オン」にした場合、いつも「オン」で撮影するのでなければ、撮影後は「オフ」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

## カメラの撮影設定をすべて初期値に戻す (フルオート)

手動調整した以下の撮影設定を、ボタン1つで初期値に戻せます。

機能	初期値	参照先
フォーカス	オート	P.44
露出	オート	P.45
逆光補正	オフ	P.45
プログラム AE	オート	P.45
ホワイトバランス	オート	P.46
手ブレ補正	オン	P.47
マイクフィルター	オフ	P.48
顔ピタ	オン	P.48

## 撮影設定をフルオートにする

1

撮影時に、[フルオート] を押し  
液晶画面に「フルオート」と数秒間表示され、設定が初期値に戻ります。

カード


## フラッシュを使う

薄暗いところで静止画撮影をする場合、シャッタースピードが遅くなるので手ブレが生じやすくなります。フラッシュの使用をおすすめします。通常、フラッシュは状況に応じて自動的に発光しますが (オート時)、状況に応じて強制発光 (オン) や発光禁止 (オフ) にすることもできます。


## フラッシュモード

### オート

フラッシュが必要かを本機が判断します。

フラッシュが発光するときは、[フォト] を半押しすると液晶画面に「」が表示され、全押しでフラッシュが発光します。

### オン

液晶画面に「」が表示され、全押しすると常にフラッシュがたかれます。

### オフ

液晶画面に、「」が表示され、発光しません。

## フラッシュモードの選びかた

1

[メニュー] を押す

2



「カメラ機能設定」▶「フラッシュ」  
▶フラッシュのモードを選ぶ

3

[決定] を押し、[メニュー] で終了

- フラッシュの設定は、電源を切っても記憶されています。



- フラッシュを使用しても、薄暗いところではピントが合わないことがあります。
- フラッシュ充電中は、「」が点滅します。「」点滅中は、撮影しても発光しません。
- 被写体が近すぎると白とびするおそれがあります。

### ご注意

- コンバージョンレンズを装着しているときには、フラッシュを「オフ」にしてください。
- フラッシュの使用可能範囲（目安）は約 1m ~ 2.5m 程度です。
- 被写体までの距離が遠いときや近いとき、明るいときには、光量調整が十分にできないことがあります。
- フラッシュを使って連続して撮影すると、フラッシュが発光しなかったり、光量の調整ができないことがあります。
- フラッシュを人の目の前に近づけて使用しないでください。
- 乗り物の運転者に向けてフラッシュを使用しないでください。
- 可燃性、爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しないでください。引火、爆発の原因になります。

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) カード

## レンズ下にある録画ランプを消す

録画ランプは、録画中であることをお知らせするため、赤く点灯しますが（オン時）、ガラスごしや水槽などの撮影で赤いランプの反射を防ぐには「オフ」にしてください。

## 録画ランプのオン、オフのしかた

1 [メニュー] を押す

2 「初期設定」▶「録画ランプ」  
▶「オン」/「オフ」

3 [決定] を押し、[メニュー] で終了

- 録画ランプの設定は、画面情報には表示されません。
- 録画ランプをオフにしている場合、セルフタイマー (P.51) 中は点灯します。

HDD (BD-RE) (BD-R) (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) カード

## 動画画質を切り替える

動画の記録画質を切り替えて、より高画質で録画したり、画質を抑えてより長い時間録画したりできます。

## 動画画質の切り替えかた

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「HD 動画画質」  
(HDD / BD / カードのとき) /  
「SD 動画画質」(DVD のとき)  
▶動画画質を選ぶ

3 [決定] を押し、[メニュー] で終了

設定した動画画質が液晶画面に表示されます (P.30)。

- 動画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。
- DVD から BD に入れ替えたり、BD から DVD に入れ替えると、動画画質はそれぞれの最後の設定に切り替わります。

カード

## ワイドテレビに対応した静止画を撮る (ワイドモード)

静止画をワイドテレビ (画面比率 16:9) でご覧になるときは、ワイドモードを「ワイド (16:9)」にすると、画面比率を変えて撮影することができます (「ノーマル (4:3)」時の画面比率は 4:3)。

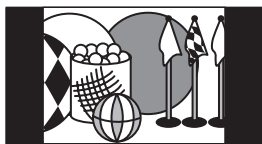
### ワイドモードの切り替えかた

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「ワイドモード」  
▶「ワイド (16:9)」 / 「ノーマル (4:3)」を選び、[決定] を押す

3 [メニュー] で終了する

- ワイドモードの設定は、電源を切っても記憶されています。ワイドテレビ以外のテレビでご覧になる場合は、ワイドモード「ノーマル (4:3)」で撮影してください。「ワイド (16:9)」で撮影すると、映像が縦長に表示されます。
- 「ノーマル (4:3)」で撮影した映像は、液晶モニターでは左右に黒帯が表示されます。



ワイドテレビでご覧になるには「ワイド (16:9)」に、静止画をプリントするには「ノーマル (4:3)」に設定してください。

カード

## セルフタイマーを使う

静止画撮影のとき、セルフタイマーを使って撮影できます。

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「セルフタイマー」  
▶「オン」

3 [決定] を押し、[メニュー] で終了  
セルフタイマーが設定され、液晶画面に「⌚10」が表示されます (P.30)。

4 [フォト] を半押ししてピントを合わせたあと、全押しします。

「⌚10」→「⌚9」→…のようにカウントダウンが始まり、約 10 秒後に撮影されます。カウントダウン中は、レンズ側にある録画ランプも点滅します。

- カウントダウンを中止して、「⌚10」に戻すには、[フォト] か [■] を押します。
- 電源を切ったり、動画に切り替えると、セルフタイマーはオフになります。